

平成 28 年度新規採用予定者内定式について

平成 27 年 10 月 1 日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 27 年 10 月 1 日（木）10 時から、国立研究所において、「平成 28 年度新規採用予定者内定式」を行いましたのでお知らせいたします。

内定式では、経営幹部立ち会いのもと、鉄道総研理事長 熊谷則道 から新規採用予定者 14 名ひとりひとりに内定通知書が手渡されました。引き続き、理事長から採用予定者へ挨拶が行われました。

理事長挨拶要旨

本日、この場においていただいた皆さんに内定通知をお渡しできたことを、大変うれしく思います。内定式に当たり、みなさんにお話ししたいことは次の 3 点です。

1. 修士、博士論文を完成させて大学の課程を修了すること
2. 生活の中で、安全について問題意識を持っていただきたいこと
3. 研究開発が社会にどのように役に立つか常に意識すること

大学生活の集大成である学位論文を仕上げることは、研究者としての第一歩としての価値を持ちます。今年度末までの数ヶ月後に大きな満足を得られるよう集中して取り組んで下さい。先達の研究方法を吸収し、そして、自分の研究スタイルを作ることをお勧めします。「温故知新」の言葉通り、新しい知を生むために先達の方法をよく見ることも必要です。研究のオリジナリティはそうしたプロセスから生まれます。皆さんは今、社会への扉の手前にいます。社会では何かを与えられるものではなく、自らが、社会に何を与えることができるかを考えていただきたいと思います。

鉄道事業に関わる方々は「安全は輸送業務の最大の使命である」という言葉を大事にしています。研究開発の成果を生むためのプロセスの中には、鉄道輸送の安全の維持にどのように役に立つかを意識しています。みなさんにも入社してからは、常に安全の問題意識を持つというスタイルを身につけていただくこととなりますが、これからの半年間、生活の中で安全の維持についての見方を持って頂くようお願いしたいと思っております。

鉄道の研究開発は、社会に役に立つ成果が求められます。鉄道総研は「ダイナミックな研究活動を通じて高い品質の成果を提供すること、鉄道会社をはじめ社会の信頼を得ていくこと」を研究開発活動のキーワードにしています。より多くのお客様に鉄道を利用していただくために、安全を第一に、高速でエネルギー効率のよい鉄道をつくることにまい進しています。鉄道総研は皆さんの若い力を必要としています。

来年の 4 月に、共に鉄道の価値を高めるための研究活動に、元気に携われることを楽しみにしています。



写真 内定通知書を受け取る内定者